



2026年4月1日

## リベロセラ株式会社、新代表取締役就任のお知らせ

リベロセラ株式会社(本社所在地:東京都中央区、以下「リベロセラ」)は、2026年4月1日付で奥村洋一(おくむらよういち)が新たな代表取締役に就任したことをお知らせいたします。

リベロセラは、独自の膜タンパク質技術を駆使し、GPCR(G protein-coupled receptor:Gタンパク質共役受容体)をはじめとする複雑な構造の膜タンパク質を標的とした創薬研究開発を行うバイオテック企業です。

リベロセラの優位性は、これまでに創薬ターゲットとして有望と認識されてはいるものの、従来の方では細胞での高発現が困難であり、可溶化や精製が難しいため創薬ターゲットとすることが難しい膜タンパク質を標的とした創薬を可能とすることにあります。理化学研究所・横山茂之特別招聘研究員らが開発した「膜タンパク質調製技術」および「非天然アミノ酸部位特異的導入技術」を活用し、機能構造を保った膜タンパク質を高純度で調製することができる技術を応用することで、アンメット・メディカル・ニーズが高く、これまでに適切な医療が提供できなかった疾患領域に、新たな治療薬を提供するべく創薬研究開発を行っております。

そのような中、2025年3月に、リベロセラが実施する「固形がんを高発現するGPCRを標的とした抗体・薬物複合体(ADC)による新規がん治療薬の開発」のプロジェクトが、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の令和6年度の第7回 創薬ベンチャーエコシステム強化事業(創薬ベンチャー公募)に採択され(リード認定VC:東京大学協創プラットフォーム開発株式会社)、AMEDからの支援を受けて、現在研究開発に取り組んでおります。

上記に加え、複数の研究開発プロジェクトにも取り組んでおり、リベロセラが行っている創薬研究開発の成果により、画期的な医薬品を世に送り出すことで、全世界の方々の健康に寄与してまいります。

新代表取締役 奥村洋一からのコメント:

パイプラインアセットが開発ステージを見据えるところまで進められ、丁度Phase-transitionのタイミングでリベロセラの事業経営をドライブすることに心昂らせております。アンメット・メディカル・ニーズの高い新薬を少しでも早く世界中の患者様に届けられるよう尽力してまいります。

略歴は、当社WEBサイト(<https://www.liberothera.com/corporate-info/officers/>)参照。

リベロセラ株式会社

本社: 東京都中央区日本橋堀留町1-9-10 日本橋ライフサイエンスビルディング7 8階

ラボ: 東京都文京区湯島 1-5-45 東京科学大学 8号館 TIP ラボ 516号室

Email: [info@liberothera.com](mailto:info@liberothera.com)